

夏秋長期どりトマト栽培の実証

要約

3月キルパー処理と定植前ラグビーMC 粒剤処理によるセンチウ類対策及び4月上旬定植により20a当たり収量は13t、販売金額は455万円となった。また、暖房燃油代のランニングコストは20a当たり1,980円と低かった。夏秋長期どり栽培では、梅雨明け以降の高温時期は収量が低下するため、4月定植による前半の収量確保と梅雨明け以降の換気や遮光を中心とした夏期高温対策が重要である。

○ 展示のねらい

夏秋長期どりトマト栽培は暖房費を極力抑えた作型で、管内で導入されつつある。夏秋長期どり作型の展示栽培により本作型の普及を図る。

○ 主な成果

・総出荷収量は20a当たり13.0tで、時期別では5～8月が約9t、9～12月で約4tであった(表1)。販売額は20a当たり455万円で、時期別では5～8月が約270万円、9～12月で約180万円であった。販売は地元直売所を中心に行い、販売単価は1kg当たり平均で350円、時期別では5～8月が300円、9～12月で466円であった。暖房燃油代は20a合計で1,950円と少なかった(表2)。

・ハウス内気温は、梅雨時期が前年より長かったため、7月第5半旬まで最高気温が35℃未満で、平均気温は7月第3半旬まで25℃未満と比較的涼しく推移した。梅雨明け後の7月第6半旬からは高温傾向となり、最高気温は7月第6半旬から9月第2半旬まで35℃以上で、平均気温も26℃以上で推移した。9月第3半旬からはハウス内温度が低下し始め、最高気温は33℃以下、平均気温も23℃未満で推移した(表3)。

表1 収量(t/20a)

5～8月	9～12月	合計
9.1	3.9	13.0

表2 暖房費(20a当たり)

消費燃油量 (A重油・リットル)	単価 (円/リットル)	燃油代 合計(円)
15	130	1,950

表3 栽培期間中のハウス内温度の推移

℃	最高				最低				平均			
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月
第1半旬	28.7	27.2	37.7	-	14.6	19.5	24.1	-	21.0	22.4	29.6	-
第2半旬	24.4	24.6	38.2	37.5	15.6	17.1	22.9	21.9	19.2	20.0	28.6	28.0
第3半旬	26.4	26.4	37.6	29.6	14.0	18.1	24.6	18.3	19.2	21.2	28.5	22.8
第4半旬	31.3	34.2	35.2	32.0	15.6	20.9	23.1	18.6	21.7	25.1	26.9	22.8
第5半旬	28.7	32.0	37.5	30.6	16.9	21.9	20.9	17.8	21.0	25.3	26.2	22.3
第6半旬	27.7	36.7	35.9	33.3	18.3	23.0	19.3	15.9	22.6	23.2	24.7	22.4

○ 今後の方向性

夏秋長期どりトマト栽培は、燃料費削減や販売単価が比較的安定しており、大規模生産者の作期拡大等で導入推進していきたい。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：塩谷町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315